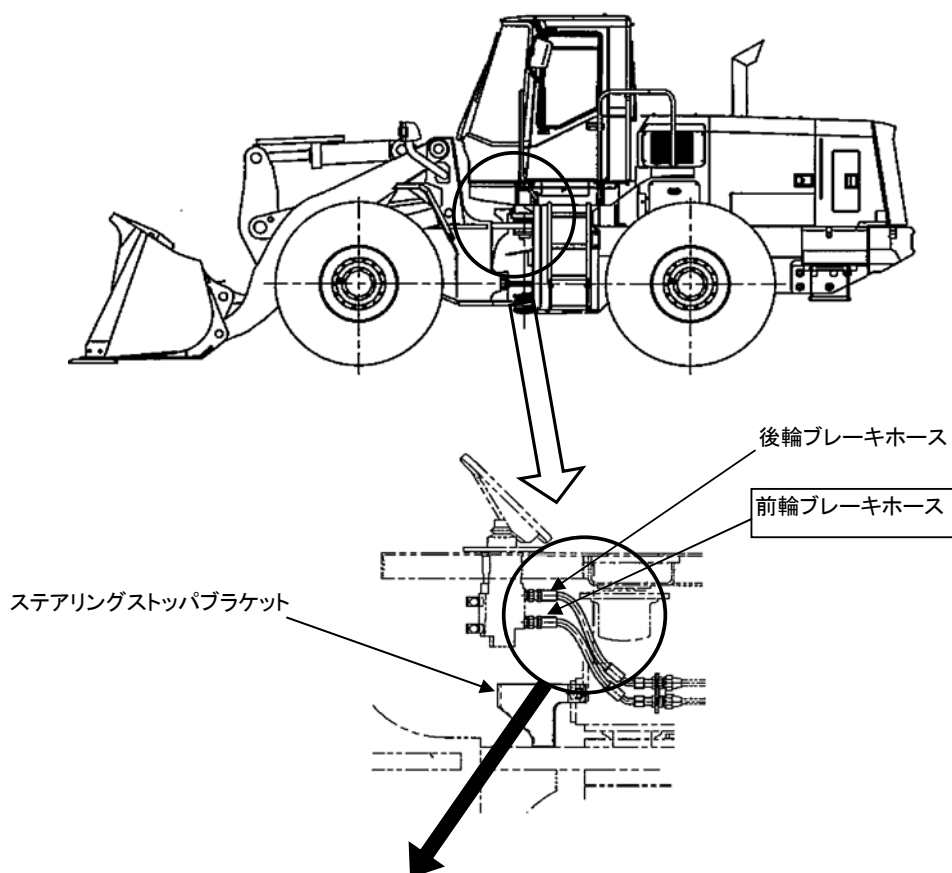


改善箇所説明図



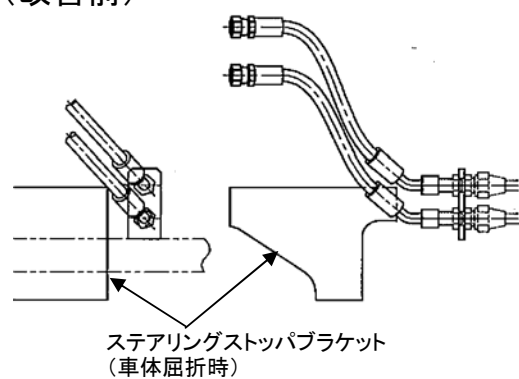
不具合発生箇所

ブレーキホースの組立指示が不適切なため、車体屈折時に前輪ブレーキホースとステアリングストップブラケットとの間に隙間がなく、干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ホースが破損し制動力が低下するおそれがある。

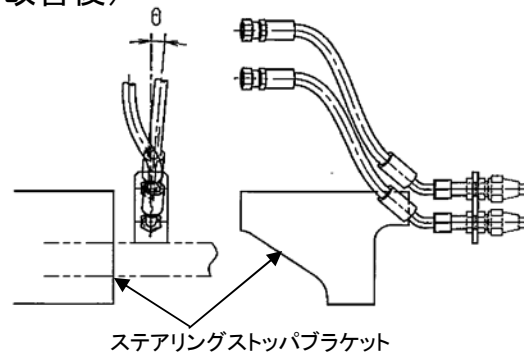
改善内容

全車両、隙間を点検し、隙間が小さいものについては、正規の隙間を確保するようホース取付を調整する。また、ホースが干渉による損傷を受けている場合には、ホースを新品に交換する。

(改善前)



(改善後)



識別 ホース取付ブラケット(黄色)に白色ペイントで印を入れる。

注: は対策部位を示す。